

お茶の水女子大学構内で採取した水には、11月下旬というのに、大型の動物プランクトンがたくさんいました。今の季節にミジンコはいないだろうと思っていましたが、結構いました。この動画は、普通の平らなスライドに池の水を1滴、その上にカバーガラスをかけたただけなので、非常に狭い空間の動きです。

ミジンコはあまり身動きがとれずクルクル回りながらジタバタしているだけです。しかし近くに現れたノープリウス（ケンミジンコの初期幼生）は、もっと小さいので自由に動き回っています。わずか1mm以下の隙間に発見した、冬のプランクトンの世界でした。

(2024年11月下旬／お茶の水女子大学構内)

